

令和6年度 学校評価報告書

学校番号(小52) 長崎市立虹が丘小学校

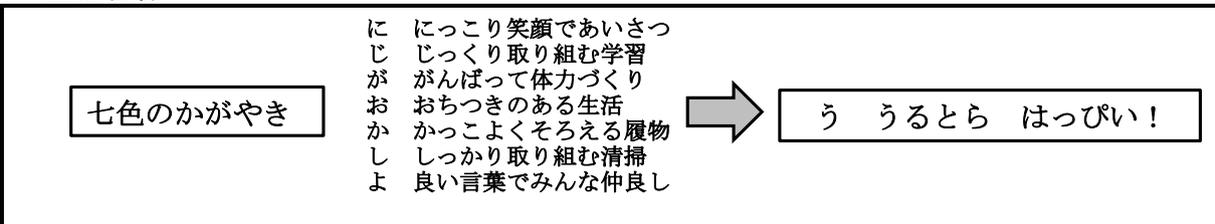
1 教育目標

未来の虹が丘を担う「七色にかがやく子ども」の育成

2 学校経営方針

日本国憲法・教育基本法の本質、ならびに長崎県及び長崎市の教育方針に則り、子どもたちの実態や地域社会の特性、保護者や時代の要請、そして、本校の歴史と伝統を踏まえた特色ある教育を推進し、郷土及び社会の担い手として新しい時代を創造する「生きる力」を身に付けた子どもの育成をめざす。
全職員は、人間尊重の精神を基調に、子どもとの信頼関係を構築し、それぞれが教育者としての職責の重要性を自覚して資質向上に努め、教育目標の具現化に向け、組織的・計画的・継続的に協働して教育活動を推進し、自信と活力に満ちた学校の実現を目指す。

3 重点目標



4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	99	98	100	「学校運営」に関する領域全ての肯定的割合が90%を超えており、一定の評価を得ていると考える。また、全ての評価においても昨年度より上回っている。教職員一人一人が学校教育目標の達成を意識して取り組んできた成果でもある。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	92	98	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			90	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			100	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	95	94	80	・「挨拶」と「清掃」の評価が高い。相手意識のある挨拶、貝になって清掃(一生懸命無言清掃)の姿が定着しつつある。 ・「悩みや相談に親身に対応」の児童の評価がやや低い。相談しやすい環境を整えるとともに一人一人に寄り添うことができる支援・指導にあたっていく。 ・「いじめ防止」の評価は、一定の評価を得ているものの、今後もいじめを絶対に許さない姿勢を全職員一丸となって進めていきたい。特に、いじめ発覚後は速やかに組織で対応するとともに、日ごろから児童の見守りや信頼関係の構築に努め、児童が示すSOSを見逃さないようにする。
		挨拶をよくしている	99	96	100	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	87	82	40	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	78	88	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	97	92	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	99	92	90	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	96	98	80	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	96	88	100	
清掃指導	清掃活動に一生懸命取り組んでいる	99	98	100		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	95	98	100	・児童の評価の中で唯一肯定的割合が100%であった項目が「わかりやすい授業」である。教職員の喜びを隠せない気持ちの一方で、今後も学力向上プランに基づき、確実に学習内容を定着させていく。 ・「家庭学習の習慣化」の評価は昨年度より少しではあるが上がっている。Chromebookの活用と持ち帰りが軌道に乗っていることもあり、今後も家庭と連携して児童の意識を高めていく必要がある。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	100	98	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	91	82	90	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	95	92	100	
		長崎のまちや虹が丘の地域が好きである	94	98	100	
読書指導	進んで読書に親しむ環境が整っている	87	88	100		

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	95	98	100	・「基本的生活習慣」の評価が低い。朝から眠そうにしていたり、あくびが多かったりする児童がいる。また、歯みがきの習慣がない児童もいる等、健康課題は多い。心身ともに健やかな成長のために、保護者への啓発や家庭との連携を強化する必要がある。 ・「体力向上」の教職員の評価が低い。今後も学校としての更なる体力向上に取り組む。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	89	76	70	
		体力向上に努めている	95	94	50	
	食育	食に関する教育活動を行っている	85	96	80	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	91	96	100	・「信頼される学校」に関する領域全ての肯定的割合が90%を超えており、一定の評価を得ていると考える。 ・「安全管理」については、児童が安心安全な学校生活が送れるようにまずは職員が危機管理意識を高めると同時に安全教育に取り組んでいる。 ・「情報提供」の評価も高い。通信等を通して、児童の様子を伝えることができています。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	92	98	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	99	98	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	99	98	100	校舎の老朽化が進み、危険箇所については、優先順位をつけながら対応している。また、花壇や掲示物等、校舎内外の環境が充実している。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			100	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

・全体的に保護者から高い評価をいただいている一方で、回答率が全家庭数の約8割というのが課題として残る。本評価結果は今後の学校経営に生かされることから、全ての保護者に関わってもらえるような本調査の在り方を検討したい。

・「学校運営」に関しては、今後も重点目標に基づいた教育活動を職員一丸となって取り組んでいく。

・「心の教育」に関しては、生活指導、人権教育、特別支援教育等を通して、児童の様々な課題を解決するとともに、児童の心を育むことに力を注いでいる。特にいじめ防止については、チーム学校として取り組むべきものであり、日々の指導はもちろん、いじめが発覚した際は、解決に向けて迅速に対応するとともにその後も見守り続けることを徹底する。

・「確かな学力」に関しては、確実に学習内容を定着させることに加え、学力向上に向けてICT機器を活用した授業や職員研修を生かした授業改善が図られている。今後も個に応じた指導を充実させるとともに問題解決的な学習指導を継続しながら、一人一人の主体的な学びの姿を高めていく授業の工夫を継続していく。

・「健やかな体」に関しては、基本的生活習慣の確立と体力向上に課題がある。児童自らが健康づくり・体力づくりに主体的に取り組めるように、家庭と連携しながら改善を進めていく。

・「信頼される学校」に関しては、引き続き、学校・地域・育友会の連携を図り、地域や育友会のお力添えをいただきながら児童の健全育成に努めていく。

・職場環境については、先生たちが元気なことが児童の元気につながることから、より一層、働きやすい職場づくりに取り組んでいく。

6 学校関係者評価

【2月21日開催 学校評価委員会より主な意見・・・学校評議員3名、育友会代表4名、校長・教頭出席】

・登校中の子どもたちは明るく元気なあいさつをしてくれる。一方で、朝から眠たそうにしていたり、すでに疲れている子どももいたりする。交通事故にはくれぐれも気を付けてほしい。＜学校評議員＞

・子どもの頃からの人権教育は大切である。家庭で子どもと対等に話せる環境を作してほしい。子どもの声を聞いてほしい。子どもが委縮しないように接してほしい。＜学校評議員＞

・子どもは遊んで育つものなのに遊ぶ場所がない。公園では危ないの理由でボールは使わないように注意される。子どもたちが公園で遊べるように大人たちはもっと大目に見てほしい。＜育友会＞

・学校評価結果からも虹が丘小学校は良い学校だと思う。一方で、児童数減少等、その良さが学校外に伝わっていない。もっとアピールをすべきである。保護者としても学校を盛り上げるお手伝いをしたい。＜育友会＞

・いじめに関しては、何かあってからの連絡ではなく、何か予兆があったときから保護者へ連絡してほしい。基本的生活習慣の確立については、まずは家庭から親子で取り組みたい。＜育友会＞

・相手に対する配慮ができる、勉強よりも人間ができた子どもを育てたい。また、朝食を摂らない子どもをゼロにしたい。＜学校長＞

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

あらためて、学校・家庭(育友会)・地域との連携を充実させる。

○心の教育
相手に対する配慮ができる児童を育成するために、生活指導・人権教育、特別支援教育等の心の教育をはじめとする学校教育活動全体を通して、児童の心を育むとともに個に応じた指導・支援にあたっていく。特にいじめ問題については、児童が示すSOSを見逃さないようにすること、予兆に気付いた時点で保護者にも情報共有や協力を得て、その改善を図る。

○健やかな体
心身ともに健康な生涯を送るためには、小学生の時から基本的生活習慣を確立させることが重要である。特に、朝食については欠食で登校することがないように保護者への啓発や改善を進めていく。

○信頼される学校
学校・家庭(育友会)・地域との連携をこれまで以上に強化して信頼関係を構築するとともに、様々な行事や取組等を通して本校の良さを発信していく。